

安全データシート

改訂日:2023年7月10日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途

硫酸(濃度調製品)  
試験研究用

\* このSDSが適用する製品名は別表1を参照。

会社名  
住所  
電話番号

米山薬品工業株式会社  
大阪府中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

整理番号

IB0151S

別表1.当SDSの適用品名一覧	
90%硫酸	6mol/L(12N)硫酸
70%硫酸	5mol/L(10N)硫酸
60%硫酸	3mol/L(6N)硫酸
55%硫酸	2.5mol/L(5N)硫酸
50%硫酸	2mol/L(4N)硫酸
25%硫酸	1mol/L(2N)硫酸
20%硫酸	0.65mol/L(1.3N)硫酸
16.35%硫酸	0.5mol/L(1N)硫酸
10%硫酸	0.25mol/L(N/2)硫酸
	0.125mol/L(N/4)硫酸
硫酸(2+1)	0.1mol/L(N/5)硫酸
硫酸(1+1)	0.05mol/L(N/10)硫酸
硫酸(1:2)	0.025mol/L(N/20)硫酸
硫酸(1+3)	0.01mol/L(N/50)硫酸
硫酸(1.25)	0.005mol/L(N/100)硫酸

2. 危険有害性の要約

GHS分類

別表2 各硫酸濃度とGHS分類及びラベル要素対照表

GHS分類及びラベル要素	硫酸濃度(品名)	90%硫酸 70%硫酸 60%硫酸 55%硫酸 硫酸(2+1), 硫酸(1+1)	50%硫酸 6mol/L(12N)硫酸 5mol/L(10N)硫酸 硫酸(1:2) 硫酸(1+3) 硫酸(1.25)	25%硫酸, 20%硫酸 16.35%硫酸 10%硫酸 3mol/L(6N)硫酸 2.5mol/L(5N)硫酸 2mol/L(4N)硫酸 1mol/L(2N)硫酸 1.3N硫酸	0.65mol/L(1.3N)硫酸 0.5mol/L(1N)硫酸 0.25mol/L(N/2)硫酸 0.125mol/L(N/4)硫酸	0.1mol/L(N/5)硫酸 0.05mol/L(N/10)硫酸 0.025mol/L(N/20)硫酸 0.01mol/L(N/50)硫酸	0.005mol/L(N/100)硫酸
健康に関する有害性	急性毒性(経口)	区分5	/	/	/	/	/
	急性毒性(吸入)	区分2	区分3	区分4	区分5	区分5	区分5
	皮膚腐食性/皮膚刺激性	区分1	区分1	区分1	区分1	区分1A	/
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1	区分1	区分1	区分1	区分1	/
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	/	/
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	区分1(呼吸器系)	/	/
環境に関する有害性	水生環境有害性短期(急性)	区分3	区分3	/	/	/	/

ラベル要素	絵表示又はシンボル						なし
	注意喚起語	危険					警告
	危険有害性情報 (コードのみ)	H303 H314 H318 H330 H370 H372 H402	H314 H318 H331 H370 H372 H402	H314 H318 H332 H370 H372	H314 H318 H333 H370 H372	H314 H318 H333	H333
	注意書き <sup>(※1)</sup> (コードのみ)						
	【安全対策】	P260 P264 P270 P271 P273 P280 P284	P260 P261 P264 P270 P271 P273 P280	P260 P261 P264 P270 P271 P280	P260 P264 P270 P280	P260 P264 P280	
	【応急措置】 <sup>(※2)</sup>	P301+330+331 P303+361+353 P304+340 P305+351+338 P308+311 P310 P312 P314 P363	P301+330+331 P303+361+353 P304+340 P305+351+338 P308+311 P310 P311 P314 P363	P303+361+353 P304+340 P305+351+338 P308+311 P310 P312 P314 P363	P301+330+331 P303+361+353 P304+312 P305+351+338 P308+311 P310 P314 P363	P301+330+331 P303+361+353 P304+312 P305+351+338 P310 P363	P304+312
	【保管】 <sup>(※2)</sup> 【廃棄】 <sup>(※2)</sup>	P403+P233, P405 P501		P405 P501			

※1) 表中にて、危険有害性情報と注意書きはコードのみ記載しております。各コードに割り当てられた文言は、下記をご参照ください。  
 ※2) SDS及びラベル記載の危険有害性情報・注意書きについて、弊社の製品管理方法、弊社製品の化学的性質に基づき、GHSガイダンスに従い、コードの文言を省略又は変更する事があります。

危険有害性情報

- 飲み込むと有害のおそれ (H303)
- 皮膚刺激 (H314)
- 重篤な眼の損傷 (H318)
- 吸入すると生命に危険 (H330)
- 吸入すると有毒 (H331)
- 吸入すると有害 (H332)
- 吸入すると有害のおそれ (H333)
- 呼吸器系の障害 (H370)
- 長年にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系の障害 (H372)
- 水生生物に有害 (H402)

注意書き

- 【安全対策】
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
  - 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。(P261)
  - 取扱い後は手などをよく洗うこと。(P264)
  - この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
  - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
  - 環境への放出を避けること。(P273)
  - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。(P284)

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+330+33  
皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚  
を流水/シャワーで洗うこと。(P303+361+353)

吸入した場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。(P304+312)

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させるこ  
と。(P304+340)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着  
用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
(P305+351+338)

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師の連絡をすること。(P308+311)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

医師に連絡すること。(P311)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。(P314)

汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。(P363)

【保管】

容器を密閉し、涼しく換気の良いところで保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

重要な危険有害性及び影響

特有の危険有害性

他の危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

硫酸(水により濃度調製したもの)

慣用名又は別名

希硫酸

化学式

H<sub>2</sub>SO<sub>4</sub> [硫酸]

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS RN : 7664-93-9

濃度又は濃度範囲

希硫酸 100% (①硫酸, ②水)

※各製品の含有量は、別表3. 濃度表を参照

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(1)-430 [硫酸]

その他

HSコード : 2807.00

別表3.濃度表

表示濃度(品名)	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量 (重量%)	表示濃度(品名)	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量 (重量%)
90%硫酸	硫酸 (CAS RN 7664-93-9)	90	水 (CAS RN 7732-18-5)	10	20%硫酸	硫酸 (CAS RN 7664-93-9)	20	水 (CAS RN 7732-18-5)	80
硫酸(2+1)		78		22	2mol/L(4N)硫酸		18		82
70%硫酸		70		30	16.35%硫酸		16		84
硫酸(1+1)		65		35	10%硫酸		10		90
60%硫酸		60		40	1mol/L(2N)硫酸		9.2		90.8
55%硫酸		55		45	0.65mol/L(1.3N)硫酸		6.0		94
50%硫酸		50		50	0.5mol/L(1N)硫酸		4.8		95.2
硫酸(1:2)		47		53	0.25mol/L(N/2)硫酸		2.4		97.6
6mol/L(12N)硫酸		44		56	0.125mol/L(N/4)硫酸		1.2		98.8
5mol/L(10N)硫酸		38		62	0.1mol/L(N/5)硫酸		1.0		99
硫酸(1+3)		37		63	0.05mol/L(N/10)硫酸		0.48		99.52
硫酸(1.25)		33		67	0.025mol/L(N/20)硫酸		0.25		99.75
25%硫酸		25		75	0.01mol/L(N/50)硫酸		0.10		99.90
3mol/L(6N)硫酸		25		75	0.005mol/L(N/100)硫酸		0.05		99.95
2.5mol/L(5N)硫酸		21		79					

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は直ちに医師に連絡し、手当/診断を受けること。

直ちに、汚染された衣類を脱ぐこと。

気分が悪い時は直ちに医師に連絡し、手当/診断を受けること。

皮膚を速やかに流水又はシャワーで洗浄すること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は直ちに医師に連絡し、医師の手当て/診断を受けること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水、水噴霧
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは、破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川等に放出し、環境へ影響を起こさないよう注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 接触、吸入、又は飲み込まないこと。 取扱い後は良く手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 この製品を使用する時、飲食又は喫煙をしないこと。 環境への放出を避けること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』に示す混触危険物質との接触を回避する。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
技術的対策	消防法の規制に従う。
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 施錠して保管すること。
容器包装材料	ガラス、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	1mg/m <sup>3</sup>
ACGIH	TLV-TWA 0.2mg/m <sup>3</sup> (無機強酸ミスト中に含まれる硫酸)
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

気中濃度を推奨された管理濃度・許容濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用する。  
 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。  
 高熱工程でガスが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

ばく露の可能性があるときは、送気マスク、空気呼吸器、又は酸素呼吸器を着用する。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

ニトリルゴム及び塩ビは適切な保護材料ではない。ネオプレンが推奨される。

目の保護具

飛沫を浴びる可能性のあるときは、全身の化学用保護衣(耐酸スーツ等)を着用する。

適切な眼の保護具を着用すること。

化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。

安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

一切の接触を防止するにはネオプレン製の、手袋、エプロン、ブーツ、又は全体スーツ等の不浸透性の防具を適宜着用すること。

しぶきの可能性がある場合は、全面耐薬品性防護服(例えば酸スーツ)及びブーツが必要である。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

無色, 油状

臭い

無臭

融点/凝固点

該当情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当情報なし。

可燃性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当情報なし。

引火点

不燃性

自然発火点

不燃性

分解温度

不燃性

pH

強酸性 0.3(1N)、1.2(0.1N)、2.1(0.01N)

動粘性率

該当情報なし。

溶解度

該当情報なし。

n-オクタノール/水分係数(混合物の場合略可)

該当情報なし。

蒸気圧

該当情報なし。

密度及び/又は相対密度

別表4.比重表を参照。

相対ガス密度

該当情報なし。

粒子特性

該当情報なし。

別表4.比重表

表示濃度(品名)	%濃度	比重	表示濃度(品名)	%濃度	比重
90%硫酸	90%	1.81	20%硫酸	20%	1.14
硫酸(2+1)	78%	1.70	2mol/L(4N)硫酸	18%	1.12
70%硫酸	70%	1.61	16.35%硫酸	16%	1.11
硫酸(1+1)	65%	1.55	10%硫酸	10%	1.07
60%硫酸	60%	1.50	1mol/L(2N)硫酸	9.2%	1.06
55%硫酸	55%	1.45	0.65mol/L(1.3N)硫酸	6.0%	1.04
50%硫酸	50%	1.40	0.5mol/L(1N)硫酸	4.8%	1.03
硫酸(1:2)	47%	1.37	0.25mol/L(N/2)硫酸	2.4%	1.01
6mol/L(12N)硫酸	44%	1.34	0.125mol/L(N/4)硫酸	1.2%	1.01
5mol/L(10N)硫酸	38%	1.29	0.1mol/L(N/5)硫酸	1.0%	1.01
硫酸(1+3)	37%	1.27	0.05mol/L(N/10)硫酸	0.48%	1.00
硫酸(1.25)	33%	1.24	0.025mol/L(N/20)硫酸	0.25%	1.00
25%硫酸	25%	1.18	0.01mol/L(N/50)硫酸	0.10	1.00
3mol/L(6N)硫酸	25%	1.18	0.005mol/L(N/100)硫酸	0.05	1.00
2.5mol/L(5N)硫酸	21%	1.15			

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

水と急激に接触すると多量の熱を発生し、酸が飛散することがある。水で薄めて生じた希硫酸は、各種の金属を腐食して水素ガスを発生し、これが空気と混合して引火爆発することがある。また、吸湿性がある。

危険有害反応可能性

多くの反応により火災又は爆発を生じることがある。

強力な酸化剤であり、可燃性物質や還元性物質と反応する。

強酸であり、塩基と激しく反応し、ほとんどの普通金属に対して腐食性を示して引火性/爆発性気体(水素)を生成する。

水、有機物と激しく反応して熱を放出する。

避けるべき条件

加熱により、刺激性又は有毒なヒュームやガス(硫黄酸化物)を生成する。

混触危険物質

可燃性物質、還元性物質、強力な酸化剤、強塩基、金属類、有機物

危険有害な分解生成物

燃焼の際は硫黄酸化物などが生成される。

## 11. 有害性情報

急性毒性

経口 : [濃硫酸として]ラットLD50 値:2140mg/kg 及びヒトでの経口摂取(摂取量は不明)による死亡例の報告があるとの記述に基づき区分5(JISでは区分外)とした。

濃度調製品は、ガイダンスに従い加算式(=100\*2140mg/kg/濃度)により分類した。

吸入 : [濃硫酸として]ラットLC50 値(4時間ばく露):0.375mg/L 及び(1時間ばく露):347ppm(4時間換算値:0.347mg/L)に基づき、区分2とした。

濃度調製品は、ガイダンスに従い加算式(=100\*0.375mg/L/濃度)により分類した。

皮膚腐食性/皮膚刺激性

[濃硫酸として]ヒトでは前眼房の溶解を伴う眼の重篤な損傷が認められたとの記述、ウサギの眼に対して5%液で中等度、10%液では強度の刺激性が認められたとの記述及び本物質のpHが2以下であることから区分1とした。

濃度調製品は、pHに基づき分類した。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

[濃硫酸として]ヒトでは前眼房の溶解を伴う眼の重篤な損傷が認められたとの記述、ウサギの眼に対して5%液で中等度、10%液では強度の刺激性が認められたとの記述及び本物質のpHが2以下であることから区分1とした。

濃度調製品は、pHに基づき分類した。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

呼吸器: 該当情報なし。(分類できない)

皮膚: 該当情報なし。(分類できない)

生殖細胞変異原性

該当情報なし。(分類できない)

発がん性

[濃硫酸として]硫酸を含む無機強酸のミストへのばく露については、IARCでグループ1、ACGIHでA2、NTPでKに分類されていることから、IARCの評価及び最近のNTPの評価を尊重し、区分1に分類されるが、硫酸そのものについては、DFGOTでカテゴリ-4に分類している。他、いずれの機関においても発がん性の分類をしていない。該当情報なし。(分類)

生殖毒性

[濃硫酸として]ウサギ及びマウスでの胎児器官形成期に吸入ばく露した試験では、母獣に毒性が認められない用量では、両種ともに胎児毒性及び催奇形性は認められず、生殖毒性を示す懸念はないことから、区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

[濃硫酸として]ヒトでの低濃度の吸入ばく露では咳、息切れなどの気道刺激症状が認められており、高濃度ばく露では咳、息切れ、血痰排出などの急性影響のほか、肺の機能低下及び繊維化、気腫などの永続的な影響が認められたとの記述から、区分1(呼吸器系)とした。

濃度調製品は、混合物の分類基準となるカットオフ値1%を鑑みて分類した。

特定標的臓器毒性(反復暴露)

[濃硫酸として]ラットでの28日間吸入ばく露試験では区分1のガイダンス値範囲で喉頭粘膜に細胞増殖が認められ、モルモットでの14~139日間反復吸入ばく露試験では区分1のガイダンス値範囲内の濃度で鼻中隔浮腫、無気肺、細気管支の充血、浮腫、出血、血栓等の気道及び肺の障害が、さらに、カニクイザルでの78週間吸入ばく露試験で、肺の細気管支に細胞の過形成等の組織学的変化が、区分1のガイダンス値の範囲の用量(0.048mg/L、23.5Hr/Day)で認められたことから、区分1(呼吸器系)とした。

濃度調製品は、混合物の分類基準となるカットオフ値1%を鑑みて分類した。

誤えん有害性

該当情報なし。(分類できない)

## 12. 環境影響情報

生態毒性

急性 : [濃硫酸として] 魚類(ブルーギル)の96時間LC50 = 16-28mg/L 区分3

濃度調製品は、ガイドランスに従い加算法[(毒性乗率10×区分1)+区分2及び(毒性乗率100×区分1)+(毒性乗率10×区分2)+区分3≥25%]により分類した。

長期間：〔濃硫酸として〕区分外

残留性・分解性  
生体蓄積性  
土壌中の移動性  
オゾン層への有害性

該当情報なし。  
該当情報なし。  
該当情報なし。  
当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。  
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知空容器の処理を委託する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

1830 (51重量%を超えるもの)  
2796 (51重量%以下のもの)

品名(国連輸送名)

硫酸(酸の濃度が51重量%を超えるもの)  
硫酸(酸51重量%以下を含むもの)

国連分類

クラス8(腐食性物質)

副次危険性

—

容器等級

II

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

毒劇法、消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

137(UN No. 1830のもの)

157(UN No. 2796のもの)

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

**各濃度の該非は別表5.法規制該非一覧を参照して下さい。**

毒物及び劇物取締法

指定化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

劇物(政令第2条別表第2)(重量%濃度 10%以下のものを除く)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条, 第57条の2及び施行令18条の2)[硫酸(濃度1%未満のものを除く)]

危険性又は有害性を調査すべき物[硫酸(濃度1%未満のものを除く)]

特定化学物質第3類物質(施行令別表第3)(重量%濃度 1%以下のものを除く)

腐食性液体(労働安全衛生規則)

消防法

貯蔵・取扱いの届出物質(第9条の3 政令1条の10)(60%以下を含有するものを除く・200kg)

労働基準法

疾病化学物質(施行規則第35条別表第1)

海洋汚染防止法

有害である物質(施行令別表第1)

船舶安全法

腐食性物質(危規則第2条危険物等級8)

航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法

腐食性物質(施行規則第12条危険物)

大気汚染防止法

特定物質(施行令第10条)

外為法

麻薬、向精神薬の原材料となる化学物質(輸出令別表第2の21の3)(重量%濃度10%以下のものを除く)

別表5.法規制該非一覧

表示濃度(品名)	重量%濃度	毒物劇物 取締法	労働安全衛生法			外為法 輸出令別表 2の21の3
		劇物	名称等を表示 すべき有害物	名称等を通知 すべき有害物	特定化学物質等 (第3類物質)	
90%硫酸	90%	該当	該当	該当	該当	該当
硫酸(2+1)	78%	該当	該当	該当	該当	該当
70%硫酸	70%	該当	該当	該当	該当	該当
硫酸(1+1)	65%	該当	該当	該当	該当	該当
60%硫酸	60%	該当	該当	該当	該当	該当
55%硫酸	55%	該当	該当	該当	該当	該当
50%硫酸	50%	該当	該当	該当	該当	該当
硫酸(1:2)	47%	該当	該当	該当	該当	該当
6mol/L(12N)硫酸	44%	該当	該当	該当	該当	該当
5mol/L(10N)硫酸	38%	該当	該当	該当	該当	該当
硫酸(1+3)	37%	該当	該当	該当	該当	該当
硫酸(1.25)	33%	該当	該当	該当	該当	該当
25%硫酸	25%	該当	該当	該当	該当	該当
3mol/L(6N)硫酸	25%	該当	該当	該当	該当	該当
2.5mol/L(5N)硫酸	21%	該当	該当	該当	該当	該当
20%硫酸	20%	該当	該当	該当	該当	該当
2mol/L(4N)硫酸	18%	該当	該当	該当	該当	該当
16.35%硫酸	16%	該当	該当	該当	該当	該当
10%硫酸	10%	非該当	該当	該当	該当	非該当
1mol/L(2N)硫酸	9.2%	非該当	該当	該当	該当	非該当
0.65mol/L(1.3N)硫酸	6.0%	非該当	該当	該当	該当	非該当
0.5mol/L(1N)硫酸	4.8%	非該当	該当	該当	該当	非該当
0.25mol/L(N/2)硫酸	2.4%	非該当	該当	該当	該当	非該当
0.125mol/L(N/4)硫酸	1.2%	非該当	該当	該当	該当	非該当
0.1mol/L(N/5)硫酸	1.0%	非該当	該当	該当	非該当	非該当
0.05mol/L(N/10)硫酸	0.48%	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
0.025mol/L(N/20)硫酸	0.25%	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
0.01mol/L(N/50)硫酸	0.10%	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
0.005mol/L(N/100)硫酸	0.05%	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)  
 16615の化学商品(化学工業日報社)  
 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。